

17 - 2 全数把握対象感染症（後天性免疫不全症候群を除く）患者等届出数，年次別

年次	二類感染症		三類感染症	四類感染症			五類感染症							
	細菌性赤痢	パラチフス	腸管出血性大腸菌感染症	オウム病	つつが虫病	レジオネラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎（E型肝炎及びA型肝炎を除く）	急性脳炎（ウエストナイル脳炎及び日本脳炎を除く）	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶レン菌感染症	ジアルジア症	梅毒	破傷風
平成16年	-	-	1	-	6	-	-	-	1	-	-	-	-	-

資料：「感染症発生動向調査」

注：1）届出のあった疾患のみの記載である。

2）二類感染症の〔 〕内は、無症状病原体保有者、（ ）内は疑似症患者で外書きである。

3）三類感染症及び四類感染症の〔 〕内は、無症状病原体保有者で、外書きである。